第３期

三郷町教育大綱

すこやか未来都市さんごう

三　郷　町

１　はじめに

現在、わが国においては、少子化、核家族化、都市化、情報化、国際化などの経済社会の急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化してきています。その一方で、新型コロナウイルス感染症に端を発した地域社会との繋がりや人間関係の希薄化など、こどもたちを取り巻く育ちの環境は大きく様変わりしています。

本町では、平成２８年４月１日に住民の皆様の最も身近な自治体として、「三郷町に住んでよかった」、また町外からも「三郷町に住んでみたい」と言っていただけるようなまちづくりを推進するため、「未来あるこどもたちのために」という柱を軸に、三郷町の教育行政の指針となる大綱を策定し、本大綱で第３期を迎えることとなりました。

本町は令和元年７月１日に「ＳＤＧｓ未来都市」に選定され、性別・年齢・障がいの有無にかかわらず、全住民が生涯活躍できる住み続けたくなる魅力のあるまち「すこやか未来都市さんごう」を政策目標として掲げています。ＳＤＧｓは社会、経済、環境上の様々な課題に対して、社会全体で協働して取り組むキーワードであり、その中には教育施策も含まれます。

こどもたちの育ちを地域・学校・行政が支える「小中一貫コミュニティ・スクール」を令和４年４月より組織化し、「あいさつ運動」や「ひまわり畑プロジェクト」など、こども・学校・地域をつなぐ取り組みを三者が協働して取り組んできたことが評価され、令和６年度には「魅力かがやく学校・地域づくり」奈良県教育委員会教育長賞の受賞、さらには「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受けるまでに至りました。

また、学習環境の充実として町立小中学校において令和５年度に教育ネットワークの高速化、令和６年度からは順次、体育館への空調設備の整備を進めています。

加えて、住民全体のスポーツ機会の充実を目的として、奈良学園大学跡地を活用し、スケートボードやＢＭＸ、バスケットボール、バレーボールなど多くのスポーツを楽しめる「ＦＳＳ３５スポーツパーク」及び「ＦＳＳ３５スポーツアリーナ」を整備いたしました。また、トップスポーツチームの誘致や協定を通し、スポーツによる地域振興を推進しています。

教育を通じて、三郷町に住むすべての方々が、性別・年齢・障がいの有無にかかわらず、生涯をとおして活躍できる「すこやか未来都市さんごう」の実現のため、町長部局と教育委員会が一体となって本町の教育行政を推進してまいります。

令和７年　４月　１日

三郷町長　木谷　慎一郎

２　根拠法令
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条の３

３　期間
「未来へつなぐ」三郷町総合戦略との整合を図り、令和７年度から令和１１年度までの５年間とします。

まちの将来像

すこやか未来都市さんごう

本町は、ＳＤＧｓの掲げる理念に賛同し、「ＳＤＧｓ未来都市」に選定されました。性別・年齢・障がいの有無にかかわらず、全住民が生涯活躍できる住み続けたくなるまちづくりのため、デジタル技術を活用しながら、すべての住民が幸福度（Ｗｅｌｌ－Ｂｅｉｎｇ）を高め、あらゆる面ですこやかで未来に希望をもつことができるまちづくりを推進していきます。
そのためにも、多様性を大切にしながら学習できる環境を整備し、このまちで育つこどもたちが将来、自分らしさを活かして活躍できるような教育を進めていきます。

大綱の基本理念

ともにまなび　ともにおもい　ともにそだつ

【自立】自ら学び、自ら考え、粘り強く取り組む「自立」と、主体性をもった「協働」を促します。
【共生】他者を思い、支えあい、共に生きる「共生力」を育みます。
【創造】三郷町を愛し、豊かな創造力をもって町の魅力を高める力とその発信力を培います。

三郷町では、「ＳＤＧｓ」の理念に則り、教育・文化・スポーツを通して、誰一人取り残さず、すべての人が個々に持つ能力を存分に発揮できる「Ｗｅｌｌ－Ｂｅｉｎｇ」なまちづくりを目指します。

基　本　目　標

Ⅰ「子育てなら三郷町」

仕事と子育ての両立を支援するサービスと質の高い教育を提供し、子育てや教育にまつわる負担・不安を減らすことで、どんな状況でも「子育てに希望が持てるまち」を目指します。

Ⅱ「教育なら三郷町」

まち全体でこどもたちの育ちをサポートできるよう、学校と地域との連携・協働体制を深めるとともに、地域の豊かな自然と歴史を活かした教育を取り入れ、「郷土愛」を育む教育を推進します。また、ＩＣＴ教育を充実させ、小中一貫教育の推進による各校の相互交流やオンライン授業の実施、校内フリースクールの設置など、こどもたちの実態に応じた教育機会を提供すると同時に、不登校等の状況にあっても学校以外の場所で学習や交流を行うことができる「第三の居場所」づくりの推進など、誰一人取り残さない多様な支援を積極的に進めます。さらには地域における学習や世代間交流の場づくりなど、すべての人が生涯にわたり学習できる機会を提供します。

Ⅲ「住み続けるなら三郷町」

生涯を「学び」の機会として捉え、心豊かな「ふれあい」と「地域愛」をもって、こどもからお年寄りまですべての人が生きがいをもっていきいきと暮らすことのできる活力ある地域づくりを進めます。

基　本　施　策

Ⅰ「子育てなら三郷町」

・放課後の学習の機会の充実

・こどもの実情に応じた居場所づくり

・豊かな心と感性を育む幼児教育の充実

・誰もが質の高い教育を受けることができるよう、就学の支援

Ⅱ「教育なら三郷町」

・こどもたちが快適に学び、育つことができる「学校施設の整備と充実」

・小・中学校教育の義務教育９年間の中で、共通の教育理念の下、１５歳の義務教育終了時の姿を共有しながら目指す「小中一貫教育の推進」

・支援を要するこどもたちが個々に持てる力を伸ばすことができる「特別支援教育の充実」

・情報・国際社会で活躍できるこどもたちを育てるデジタル活用による「ＩＣＴ教育と国際教育の推進」

・すべてのこどもたちの笑顔を守る「いじめ対策・不登校支援の推進」

・こどもたちが安心して過ごせる「安全な学校づくり」

・食育と地産地消を推進し、安全安心な給食を提供する「学校給食体制の充実」

・学校・地域が一体となり、協働してこどもたちを育む「地域の教育力の向上」

・町を取り巻く環境を活かした「文化教育の推進」と「地域愛の醸成」

・ＩＣＴの活用による「幅広い図書利用の促進」

Ⅲ「住み続けるなら三郷町」

・生涯を通して学び続けることのできる「生涯学習の推進」

・町全体でこどもたちの育ちを支える「青少年の育成の充実」

・すべての人の笑顔のための「人権教育・啓発の推進」

・生涯学習の場所を提供するための「文化センターの充実」

・豊かな心を育む「文化活動への支援」

・誰一人取り残さず、知る・学ぶ・深めることのできる「図書館機能の充実」

・スポーツを軸とする地域交流・振興及び健康づくりを進める「生涯スポーツの推進」

・すべての世代の人がスポーツを楽しむ場を提供する「スポーツ施設の整備」